



2011/8/30(火)・31(水)

高島・朽木等湖西方面で宿泊研修を実施しました!

発行日:2011/9/20 発行元:里親学生支援室

「高島・朽木等湖西方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、8月30日(火)～31日(水)の2日間、宿泊研修を実施しました。今年度からは、新たに設立されたNPO法人 滋賀医療人育成協力機構との協賛事業として、滋賀県出身で他大学に学ぶ学生にも参加呼びかけをして取り組み、自治医科大学の学生1名を含む教職員合わせて22名での研修となりました。また、先の室員と学生との懇談会で学生から出されていた意見を受けて、少人数で地域の医療機関や福祉施設を訪問し体験的に学ぶことを中心とした研修としました。

1日目 少人数にわかれて見学実習を実施

夜は、地域の先生方のご講演や里親・フ千里親の方々との交流会

滋賀医科大学

社会保険滋賀病院
大津市民病院
大津赤十字病院
琵琶湖大橋病院

車中見学

分かれて実習

ふくた診療所

(訪問診療見学)

マキノ病院

(訪問看護見学)

朽木診療所

(乳幼児健診・訪問診療見学)

まつもと整形外科

(施設見学・診療見学)

特別養護老人ホームふじの里

(説明・施設見学)

特別養護老人ホーム清風荘

(説明・施設見学)

交流会1部、2部

第1部は、高島市役所健康福祉部健康推進課の清水主監と朽木診療所の川嶋先生からご講演いただきました。第2部は、研修先や里親・フ千里親など8名の方々に、それぞれのお立場からご意見をいただきました。また、学生や教職員からは研修内容の報告や意見発表などもあり、貴重な情報交換・交流の場となりました。

2日目

高島・朽木地区の歴史・文化を学ぶ

宿舎

高島総合病院
車中見学

琵琶湖周航の歌資料館

今津ウォーリス資料館

興聖寺

朽木郷土資料館跡

今津ウォーリス資料館

朽木陣屋跡

今回は少人数でおかつ自分の希望した医療機関や施設を伺うことができたため、2日間という限られた時間を非常に有意義に過ごすことができましたように思います。(医学科 3年)



琵琶湖周航の歌 歌碑(今津港)の横で

地域医療における在宅医療の魅力と必要性について学ぶところが多くありました。先生から今のお仕事のやりがいについてお話を伺ったり、先生を迎えた患者さんやそのご家族の方の安心した表情を間近で見てとったりすることによって、今まであまり具体的なイメージのなかった訪問診療がとても温かみのある医療として感じられました。(医学科 4年)



特別養護老人ホームふじの里にて

施設長からのお話の他、看護師、介護士、生活相談員の方からお話を伺いました。

施設の方のお話を聞いて医師と福祉施設とのつながりを初めて知りました。こうしていろいろなところから必要とされているのに、緊急時に対応できる医師が不足しているという現状を知り、深刻な問題であると思いました。今回の研修で学んだことを活かし、これからは介護・福祉にも視野を広げて学んでいきたいと思えます。(医学科 1年)

学生の感想文より

医療以外の分野の現場の方々のお話を直接に聞くことのできる機会はとても貴重だと思いました。今後も研修に参加し、滋賀県の医療体制を立体的に捉え、その中でどういった事を学ぶようすれば人の役に立つことができるのかを知ってゆく機会にしていきたいと思えます。(医学科 1年)



特別養護老人ホーム清風荘にて

お話を伺った後は、ローラー付きの椅子や天井取り付けのリフトが備わった、充実した施設を拝見しました。



交流会第1部・第2部にて

先生は、畑仕事などで足腰を痛めた患者さんと仲のいいご近所さんのように患者さんの近況や世間話をしながら、痛みをとる治療をなさっていました。それは地域に根ざした医療のお手本のように思いました。(医学科 3年)

湖西には病院が少ないので、患者さんを支えるには在宅医療が不可欠です。しかし往診を行う医師がとても少ないことを知り、強い問題意識を持ちました。二日目には湖西の資料館を巡ったりと、滋賀の魅力をたくさん知ることができました。中でも、ウォーリス資料館が素敵でした。(医学科 1年)



興聖寺にて

回を重ねる毎に地域医療に対する理解が深まるのを感じています。“現場”を肌で感じる事ができたのは本当に貴重な体験でした。少人数で訪問させて頂いたので、看護師の方をはじめとするスタッフの皆さんと個人的にお話出来、皆さんのそれぞれの土地への愛情や仕事への熱意を再認識しました。(医学科 2年)

地域医療に携わる医者は「地域が必要とする医療を自ら把握し、習得し、地域に還元する」ということを、身を持って教えて頂いた気がします。また長期にわたる在宅医療は家族だけでは支えきれず、医療者が寄り添い、一人(家族だけ)ではないことを伝え続けること、医療者の縁の下のサポートで気持ちが救われる家族がいることを実感しました。(医学科 4年)

地域里親学生支援のホームページ
(<http://satooya.shiga-med.ac.jp/>)